

この人

むつちゅ星

むつ総合病院 研修医

久保田実怜さん



現在研修医としてむつ総合病院へ勤務される久保田実怜さんは、むつ市荒川町出身の26歳。大平中学校、田名部高校を卒業後、弘前大学医学部で医学を学びました。特集「私がむつで働く理由」に登場した久保田隼介さんとは大学の同級生で、お二人が並ぶ姿は、明るいむつ市の未来そのもの。

「患者さんが元気になった姿を見ると医師になって良かったと実感します。」という久保田さんもまた、毎日命の現場に向き合って医師としての経験を重ねています。

「美味しいものを食べることで、読書が好きです。」と穏やかに話す久保田さんは、週に一回必ず実家に帰って家族とご飯を食べることに決めているとのこと。その笑顔に優しさがあふれます。

将来は麻酔医として頑張りたいという久保田さんから、私たちが元気をいただきました。

世界に広めたい!! わたしのむつ自慢

街中みんなが特派員!

あなたの「むつ自慢」をご紹介します!



佐々木 祐子 さん

わたしのむつ自慢は大湊水源池公園! 公園内は陸奥湾を眺望しつつ、花々を鑑賞できる憩いの場として楽しんでいます。また、日本初の石積みアーチ式ダムがあり、4つの櫛型アーチをした溢水口の上には小さな赤い小屋が美しいコントラストを醸し出しています。



佐藤 裕美 さん

わたしのむつ自慢は、海上自衛隊大湊基地に「護衛艦」がいること。いつも見守ってくれてありがとうございます!



骨皮サトツチ さん

わたしのむつ自慢は、介護予防運動についてのむつ市民の意識の高さです。先日下北文化会館で開催された「介護予防運動講習会」に行ってみたら、会場には200人を超える参加者が。むつ市のみなさんの健康関心度と意識の高さを表していると感じました。これは、まぎれもなくむつ市の誇れる自慢です。



あなたの「自慢」を広報むつでみんなに教えますか?

〈応募方法〉

写真1枚にひとことメッセージを添えて、広報むつまでメールでご応募ください。メッセージの最初は「わたし(ぼく、オレ...)のむつ自慢は」などから始めてください。本文の最後に、応募者の氏名、住所、電話番号を明記ください。ペンネームでの掲載をご希望の方はそちらも明記ください。

〈応募先〉 市企画部市民連携課 わたしのむつ自慢募集アドレス
info@city.mutsu.lg.jp

〈注意事項〉

- ・送信いただく写真のサイズは4MB未満(JPEG推奨)とし、圧縮ファイル等を用いず送信してください。
 - ・フリールメールでの送信は、受信できない場合がありますのでご注意ください。
 - ・応募されたもののうち、採用された写真とメッセージ、お名前(ペンネーム)のみ掲載されます。
 - ・応募写真およびメッセージの著作権は応募者に帰属しますが、広報むつは応募写真およびメッセージを使用する権利を有します。また、メッセージについて、一部修正して掲載する場合があります。
 - ・応募写真に他人が権利を有する著作物または他人の肖像が写っている場合は、その著作物の権利またはその肖像ご本人(成人未満の場合は保護者)から事前の承諾を得たうえでご応募ください。
 - ・市は、他人の著作権、肖像権を侵害するような行為が行われた場合、それに関するトラブルの責任は一切負いません。
- 〈禁止事項〉
- ・公序良俗に反する物、第三者の著作権およびその他の権利を侵害するもの、第三者を誹謗中傷またはそのプライバシーを侵害するもの、法令等に違反し犯罪行為に結びつくもの、またはその恐れのあるもの。
 - ・本企画の趣旨に合わないもの。
 - ・応募内容が判断不能なもの。